

令和8年度 大分県立工科短期大学校 聽講可能科目一覧表 (2026.1.14) 1/2

1 機械システム系(生産技術科)

(注) 各科目の内容と開講曜日と時限は、R7年度のカリキュラムを参考に記載しており、変更する可能性があります。聽講生志願書を提出する前に必ず本校にお問い合わせください。

区分	科目番号	科目名	学年	学期	曜日時限	単位	内容	備考
専門学科	1	材料工学	1	1~20	火曜 3限	2	機械に使用される材料について、それらの性質と評価方法を学習し、適切な材料を選定できる能力を付ける。(1) 機械材料の分類 (2) 鉄鋼材料の分類 (3) 炭素鋼の状態図と組織 (4) 熱処理 (5) 非鉄金属材料	
	2	機械加工学	1	1~20	金曜 1限	2	機械や器具を製作するための各種工作法の知識を系統的に学ぶ。特に、重要度の高い切削加工については、詳細な基礎理論も習得する。(1) 切削加工 (2) 研削加工 (3) 切削理論 (4) 工作機械 (5) 高エネルギー加工 (6) 鋳造 (7) 溶接と溶断 (8) 塑性加工	
	3	数値制御	1	1~20	月曜 1限	2	NC工作機械の発達経緯、基本機能、制御機構を学び、各種NC工作機械のプログラミングを行なうことができる力を養成する。特に、NC旋盤及びマシニングセンタのプログラミング力を付ける。(1) NC工作機械の概要 (2) NC言語 (3) プログラミング (4) NC工作機械の制御機構	
	4	基礎製図	1	1~20	月曜 3,4限	4	製図の基本と JISに基づく機械製図の基礎をマスターし、図面を正確に読み書きできる力を養う。(1) 投影法と製図 (2) JISによる機械製図 (3) 尺寸公差 (4) 幾何公差 (5) 面の肌 (6) 技能検定機械プラント製図3級課題	
	5	機械設計学	1	3~40	金曜 4限	2	機械設計として、機械装置の仕組みや役割を把握するとともに、構成部品の名称や働きを理解することが大切となる。さらに、それらの構成部品に対して、適切な強度を得るために材料や寸法の選定方法を学ぶ。(1)ねじ (2)軸と要素	
専門実技	6	2次元CAD基礎演習	1	1~20	金曜 4限	2	2次元CADソフトを使用し、操作の基本を身につける。(1) CAD基本操作 (2) コマンド機能による作図	使用ソフト AutoCAD2024
	7	2次元設計CAD演習Ⅰ	1	3~40	月曜 1,2限	4	CADの操作方法の基礎とJISに基づく製図規則を深く学び、CADトレースやプラント製図の課題を通して、身につけていく。(1) CADの操作 (2) 機械要素の作図	以下のいずれの条件も満たす方 ・AutoCADの基礎操作ができる方、または「2次元CAD基礎演習」を受講済みの方 ・基礎製図の知識を有している方、または「基礎製図」を受講済みの方 使用ソフト : AutoCAD2024
	8	2次元設計CAD演習Ⅱ	2	5~60	月曜 1,2限	4	生産に直結した製作図を描くことを目的に、設計した計算に基づいて組立図及び部品図を完成させ、創造性ある製図能力を養う。(1) 機械設計製図の手順 (2) 基本設計に関する知識 (3) 機械構成要素・設計計算 (4) 製品設計 (5) 組立図の作成 (6) 部品図の作成 (7) 檢査	以下のいずれの条件も満たす方 ・AutoCADの基礎操作ができる方、または「2次元CAD基礎演習」を受講済みの方 ・基礎製図の知識を有している方、または「基礎製図」を受講済みの方 使用ソフト : AutoCAD2024
	9	3次元設計CAD演習(基礎編)	1	3~40	金曜 1,2限	4	3次元形状作成技術を学ぶために、3次元CAD(CATIA)による各種モデル作成を習得する。(1) CAD基本操作 (2) メカニカル・デザイン	使用ソフト CATIA V5
	10	3次元設計CAD演習(実践編)	2	5~60	金曜 1,2限	4	3次元設計手法を、課題作成を行うことで、総合的に理解する。これにより、アセンブル技法及びDMU技法を習得する。(1) アセンブル・デザイン (2) DMU基本操作 (3) 機構設計	3次元設計CAD演習(基礎編)を受講された方が対象
	11	CAD/CAM実習(基礎編)	2	5~60	木曜 3,4限	4	CAD/CAMシステムによる立体モデリングの基本操作及びカッターバスやNCデータの作成を行い、CAM技術について習得する。(1) 3次元サーフェスマodelリング (2) 加工情報の構築 (3) 2・5次元加工データの作成	使用ソフト C&G社製CAM-TOOL
	12	CAD/CAM実習(実践編)	2	70	木曜 1,2限	2	CAD/CAMシステムによって作成されたNCデータをもとにVERICUTによる加工シミュレーションを行う。実習を通して、様々な形状に対する適切な加工方法について学ぶ。(1) 3Dサーフェスマodelから同時に3軸加工データの作成 (2) NCデータ出力 (3) 加工シミュレーション	使用ソフト C&G社製CAM-TOOL
	13	機械加工実習Ⅰ	1	1~20	木曜 3,4限	4	金属加工の基礎的加工法を、汎用工作機械作業、溶接作業により習得する。(1) ボール盤 (2) 旋盤 (3) フライス盤 (4) 平面研削 (5) 溶接	
	14	機械加工実習Ⅱ	1	3~40	月曜 3,4限	4	金属加工の基礎的加工法を、汎用工作機械及びNC工作機械作業により習得する。(1) 旋盤 (2) フライス盤 (3) NC旋盤 (4) マシニングセンタ	
	15	情報処理実習	1	1~20	火曜 2限	2	パソコンの基本操作を覚え、常用する基本アプリケーションソフトをマスターする。(1) パソコンの基本操作 (2) ワードプロセッサー (3) 表計算	使用ソフト ・Microsoft Word (文書作成) ・Microsoft Excel (表計算)
デジタルエンジニアコース	16	溶接工学	2	60	木曜 1,2限	2	機械や機器を製作するための各種溶接法を習得する。(1) 各種溶接方法の概要 (2) 被覆アーク溶接 (3) 炭酸ガス溶接 (4) TIG溶接	
	17	シミュレーション技法	2	50	木曜 1,2限	2	加工シミュレーションソフトを使用し、簡単なモデルから複雑な形状までのシミュレーションを行う。特に、マシニングセンタにおける工具バスの加工シミュレーションを習得する。(1) シミュレーションソフトの操作 (2) NCプログラミングの作成 (3) 加工シミュレーションの検証 (4) プログラミングの修正・検証	使用ソフト CGTech社製VERICUT

2 電気・電子システム系(電気エネルギー制御科/電子技術科)

(注) 各科目の内容と開講曜日と時限は、R7年度のカリキュラムを参考に記載しており、変更する可能性があります。聽講生志願書を提出する前に必ず本校にお問い合わせください。

区分	科目番号	科目名	学年	学期	曜日時限	単位	内容	備考
専門学科	1	電磁気学Ⅰ/Ⅱ	1	10 20 30 40	木 2限 金 1限 水 3限 火 1限	4	【電磁気学Ⅰ】電荷と電界・電位・種々な導体による電界について学び、電磁気学の基礎を身につける。(1) クーロンの法則 (2) 複数個の点電荷による電界 (3) ベクトルの演算 (4) 電気力線 (5) ガウスの法則 (6) 電界中で電位を移動するのに要する仕事 (7) ベクトルの回転 (8) 各座標系のラプラスアン (9) 電気双極子 (10) 球の電界 (11) 無限平面の電界 【電磁気学Ⅱ】磁界・電磁誘導・インダクタンスについて学び、電磁気学の基礎を身につける。(1) アンペアの右ねじの法則 (2) ビオ・バーサーの法則 (3) 磁界的ボテンシャル (4) ホール効果 (5) フラーデーの法則 (6) 交流の発生 (7) 電気・機械エネルギー変換 (8) 自己インダクタンス (9) 相互インダクタンス (10) インダクタンスの計算例	
	2	電気回路Ⅰ/Ⅱ	1	10 20 30 40	木 1限 水 1限 水 1限 水 1限	4	【電気回路Ⅰ】直流の基本的回路、熱量と電力を学ぶ。また、回路網の設計、計算ができる力を養う。(1) 直流回路 (2) 热量と電力 【電気回路Ⅱ】交流の基本的回路、三相交流電力を学ぶ。また、回路網の設計、計算ができる力を養う。(1) 交流回路 (2) 三相交流電力	
	3	電子工学Ⅰ/Ⅱ	1	10 20 30 40	月 2限 20 月 2限 20 月 2限 火 2限	4	【電子工学Ⅰ】半導体デバイスの構造、動作原理を学び、基本的な電子デバイスの知識を得る。(1) 電子物性 (2) ダイオード、トランジスタ、FET (3) 集積回路 【電子工学Ⅱ】半導体デバイスの利用方法を学び、基本的な電子回路の知識を得る。(1) 増幅回路の基礎 (2) トランジスタ増幅回路 (3) 小信号増幅回路設計 (4) さまざまな回路	
	4	制御工学Ⅰ/Ⅱ	1	20 30 40	月 4限 木 1限 月 1限 水 2限	4	【制御工学Ⅰ】自動制御がどのような仕組みで実現されているのか、また、フィードバックがどのような役割を果たしているのかについて学ぶ。(1) 自動制御の概要 (2) 自動制御の解説方法 (3) ラプラス変換 (4) 伝達関数 (5) ブロック線図 【制御工学Ⅱ】自動制御がどのような仕組みで実現されているのか、また、フィードバックがどのような役割を果たしているのかについて学ぶ。(1) 過渡応答 (2) 周波数応答 (3) ボード線図 (4) フィードバック制御 (5) センサとアクチュエータ (6) MATLAB	
	5	基礎製図	1	1~20	金曜 2限	2	製図についての基礎的な知識と技術を習得し、図面を構想し作成する力を養う。(1) 線 (2) 文字と各種記号 (3) 平面図形 (4) 第三角法・寸法記入 (5) 電気・電子製図	
	6	電気製図	1	30 40	火 1限 金 2限	2	図面作成方法、CADの活用など電気技術者として必要な製図に関する基礎基本を学ぶ。(1) Jw_CADの操作方法 (2) 図面枠 (3) レイヤ操作練習 (4) 電気設備図作図 (5) 電気設備図設計	電気電子システム系の専門学科、科目番号5の基礎製図の受講済み、またはJw_CADの基本操作が出来る方が対象
専門実技	7	電気工学基礎実験Ⅰ/Ⅱ	1	1~20	木曜 3,4限	4	【電気・電子工学基礎実験Ⅰ】電気工学の基礎的分野について、実験を通じて理解を深めるとともに、電気機器や計測器などの取扱いを学ぶ。また、実験手順の考え方・データのまとめ方・レポートの書き方についても学習する。(1) 実験装置や計測器の取扱い (2) 直流回路 (3) 交流回路 (4) 受動素子の特性 (5) ダイオードの特性 (6) トランジスタの特性 (7) アナログ回路	
	8	電子工学基礎実験Ⅰ/Ⅱ	1	3~40	木曜 3,4限	4	【電気・電子工学基礎実験Ⅱ】電子工学、アナログ回路、デジタル回路の基礎的分野について、実験を通じて理解を深める。(1) アナログ回路(受動素子の特性) (2) ゲート回路 (3) ロジックICの特性(TTL・CMOS) (4) フリップフロップ回路	
	9	電子回路製作実習	1	3~40	月曜 3,4限	4	電子回路の製作に必要な基礎的な実技能力を養うとともに、製作した回路の動作チェックを行うことによって、理論や設計技術の重要な理解する。(1) ハンド付け (2) 配線ケーブル製作 (3) 簡単な電子回路の製作と動作チェック	
電気制御工学エンジニアコース	10	配線設計	2	5~60	木曜 1,2限	4	電気設計CADソフトを使用し、電気回路設計について学ぶ。(1) 電動機課題 (2) 配電盤課題 (3) 消火ポンプ制御回路 (4) 工場電気設備課題	電気電子システム系の専門学科、科目番号14の電動機実習の受講が必須
	11	低圧電気特別教育(学科)	2	50	水曜 2限	1	低圧の充電回路の敷設等の業務に係る作業者が身につけていなければならない安全上の知識を学ぶ。(1) 低圧の電気に関する基礎知識 (2) 低圧の電気設備に関する基礎知識 (3) 低圧用の安全作業具に関する基礎知識 (4) 低圧の活線作業および活線近接作業の方法 (5) 関係法令	
	12	制御プログラム技術	2	70 80	月 3,4限 水 1,2限	4	プログラム言語Pythonによるデバイス制御プログラムについて設計・コーディング・動作検証・評価の方法について学ぶ。(1) Python習得 (2) 條件判断、繰り返し制御 (3) センサ情報に基づくデバイス制御 (4) 制御アプリケーション・ソフトウェア開発	
	13	CAD/CAM実習	2	5~70 80	金 1,2限 月 3,4限	8	3次元形状作成技術を学ぶために、3次元CADによる各種部品作成、図面作成およびアセンブリ作成方法を習得する。また、装置組立課題において、装置組立に必要な部品を3Dプリンタで作成し、装置を組み上げることによってCADデータとCAMデータの作成および3Dプリントの操作方法を習得する。(1) CAD基本操作 (2) 部品作成 (3) 図面作成 (4) アセンブリ作成 (5) 3Dプリンタ (6) 装置組立	
	14	電動機実習	2	50	火曜 3,4限	2	誘導電動機の運転制御方法について学ぶ。また、配線設計で作成した図面を元にチューブを作成し、配線作業を行う。(1) 誘導電動機の直入れ運転 (2) 誘導電動機の正転・逆転運転 (3) 誘導電動機の寸動運転 (4) 誘導電動機のY-△運転	電気電子システム系の専門学科、科目番号10の配線設計の受講が必須
	15	電気・電子計測実習	2	5~60	火曜 1,2限	4	グラフィカルプログラミングソフトを使用し、ユーザーインターフェースの作成方法、計測機器との接続方法やデータ収集方法などを学ぶ。(1) LabVIEWプログラミング入門 (2) ストラクチャ (3) 配列 (4) クラスター (5) サブVI (6) ファイルI/O (7) デザインインプレート (8) 計測器制御	
	16	低圧電気特別教育(実技)	2	60	月曜 2限	1	低圧の充電回路の敷設等の業務に係る作業者が身につけていなければならない活線作業方法について学ぶ。(1) 低圧の活線作業及び活線近接作業方法	
	17	自動制御実習	2	5~60	月曜 1,2限	8	PLC制御の応用を学び、各種センサや電気・空気圧などのアクチュエータを組み合わせて動作する自動化システムを構築する方法を学習する。	IQはPLC応用と油空圧、20はVBとシーケンス技能検定2級に取り組みます。
電子情報エンジニアコース	18	IoTシステム概論	2	50	月曜 1,2限	2	IoTシステム構築・活用に関する基礎知識を中心に学ぶ。(1) IoTシステム構成と構築技術 (2) センサ/アクチュエータ技術と通信方式 (3) IoTデータ活用技術(AI) (4) IoT情報セキュリティ対策技術 (5) IoTシステムのプロトタイピング技術	

開講日は、月曜日から金曜日までの週5日制とします。  
授業は、90分を1時限とし、1単位で9回実施いたします。  
授業時間は、次のとおりです。  
第1限 8時50分から 10時20分まで  
第2限 10時30分から 12時00分まで  
昼休み 12時00分から 13時00分まで  
第3限 13時00分から 14時30分まで  
第4限 14時40分から 16時10分まで

○本校の授業はクォーター制(1年間を4分割)を採用し、各期間は次のとおりです。			


<tbl\_r cells="1"

令和8年度 大分県立工科短期大学校 聴講可能科目一覧表 (2026.1.14) 2/2

3 建築システム系(住居環境科)

(注) 各科目の内容と開講曜日と時限は、R7年度のカリキュラムを参考に記載しており、変更する可能性があります。聴講生志願書を提出する前に必ず本校にお問い合わせください。

区分	科目番号	科目名	学年	学期	曜日・時限	単位	内容	備考
専門学科	1	建築概論	1	1・20	10・水曜 1・火曜 20・火曜 1・火曜	2	建築学の扱う領域や建築の寸法体系、建築の歴史について学ぶ。(1)建築学の領域 (2)建築の寸法体系 (3)建築の歴史	
	2	住居論	1	2・3 ・40	20・火曜 2・火曜 30・火曜 1・火曜 30・水曜 2・火曜	3	住居の歴史、生活様式と住まいについて基礎的な知識を習得し、住まいを計画する上での基本的な考え方を学ぶ。 (1)機能図・動線図 (2)各室の計画 (3)住宅のプランニング (4)住まいの歴史	
	3	建築計画II	2	60	月曜 1限	1	各種建築の基本知識を学び、建築士試験の学科試験に必要とされる建築計画の基本事項を押さえる。(1)幼稚園・保育所 (2)学校建築 (3)ホテル (4)美術館・博物館 (5)劇場	
	4	環境工学I	1	1・20	10木曜 3・火曜 20・金曜 2・火曜	2	快適な居住空間をつくるために室内外の環境に影響を及ぼす環境的な要素について把握し、調整するための考え方や方法について学ぶ。 (1)外部気候と室内気候 (2)伝熱と結露 (3)換気と通風	
	5	環境工学II	1	3・40	30月曜 2・火曜 40・火曜 2・火曜	2	環境工学分野のうち、日照と日射、光環境、音環境に関する基礎的事項について学ぶ。 (1)日照と日射 (2)採光・照明、色彩 (3)音環境	
	6	建築設備	2	5・60	50木曜 1・火曜 60月曜 2・火曜	2	居住空間に必要とされる建築設備分野のうち、給排水衛生設備、ガス設備、消防設備、空気調和設備、電気設備について学ぶ。 (1)給排水衛生設備 (2)ガス設備 (3)消防設備 (4)空気調和設備 (5)電気設備	
	7	建築構法	1	1・20	10・水曜 2・火曜 20・木曜 3・火曜	2	建物の構成や仕組みについて建築技術と結び付けながら学び、建築物の構造や材料に関する基礎的な知識を習得する。 (1)建築構造の種類 (2)鉄筋コンクリート構造 (3)鉄骨構造 (4)木質構造	
	8	建築構造力学I	1	1・20	月曜 2限	2	建物の安全性を検討する構造設計の基礎となる分野で、構造力学の必要性や力学の基礎について学ぶ。 (1)構造力学の概要 (2)力に関する基礎知識 (3)構造物の分類 (4)静定梁の解法 (5)静定ラーメンの解法 (6)静定トラスの解法	
	9	建築構造力学II	1	3・40	30・木曜 1・火曜 40・水曜 2・火曜	2	構造設計における基礎的な知識となる断面の性質や応力度やひずみ度、部材の設計法や不静定構造物の解法について学ぶ。 (1)応力度とひずみ度 (2)断面の性質 (3)断面の設計 (4)静定構造物の変形 (5)不静定構造物の解法	建築構造力学Iの内容が理解できていること。
	10	木造住宅構造設計	1	40	月曜1限 木曜1限	2	木造住宅の構造設計について、設計の流れや設計手法、耐震設計上の要点について学ぶ。 (1)構造設計の概要 (2)構造計画 (3)構造設計 (4)構造図作成	
	11	鉄筋コンクリート構造	2	5・60	50・木曜 3・火曜 60・火曜 2・火曜	2	建築物の安全性を実現する上で非常に重要な構造設計について、我が国における構造設計法の概要及び鉄筋コンクリート構造の構造設計方法について学ぶ。 (1)構造設計の概要 (2)梁の設計 (3)柱の設計 (4)せん断補強 (5)付着・定着 (6)床スラブの設計 (7)耐震壁の設計 (8)基礎の設計	
	12	建築材料I	1	2・30	前・水曜 2・火曜 後・木曜 2・火曜	2	住宅建築に使用される主な材料について、その特徴と主な性質を学び、適切な材料を選定できる能力を養う。また、各種建築物に使用されるコンクリートについて、原料であるセメントや骨材に求められる性質や、建材として求められる基本的な性質について学ぶ。 (1)材料の分類 (2)木材 (3)金属 (4)セメント・コンクリート	
	13	建築材料II	2	5・60	50月曜 1・火曜 60火曜 1・火曜	2	各種建築に使用される基本的な材料である鋼材について、その特徴と主な性質を学ぶ。また、各種内外装材や断熱・採光のための機能材料の種類、性質、使用箇所、使用方法について学ぶ。 (1)仕上げ材料 (2)機能材料	
	14	建築生産概論	1	10	月曜 1限	1	建築の生産プロセスの流れやプロセスの内容、建築生産の特質、建築プロジェクトの種類や特徴について学ぶ。 (1)建築生産プロセス (2)建築生産を担う業種 (3)建築生産の特質 (4)建築プロジェクト (5)建設業の現状と変革	
	15	木造建築施工	1	20	水曜 3限	1	木造の住宅を造る上で、必要な基礎的な技術を理解するとともに、適切な施工を行うことができる力と施工を進めていく上で必要な施工管理について学ぶ。 (1)建築生産概要 (2)施工計画 (3)施工管理 (4)木造軸体工事 (5)内外装工事	
	16	生産工学	1	30	月曜1限 木曜3限	2	ものづくりとしての建築、建築生産の仕組みと生産管理手法を学ぶとともに、仮設工事、基礎工事についての具体的な施工法について学ぶ。 (1)鉄筋コンクリート軸体工事 (2)鉄骨軸体工事 (3)仮設工事	
	17	建築施工	1・2	4・50	火曜 1限	2	建物の骨組みを形成する工事から仕上げの工事に至るまでの具体的な建築施工技術を理解し、施工計画の実施に必要な建築生産技術、管理方法を学ぶ。 (1)地下工事 (2)防水工事 (3)内外装工事	
	18	安全衛生工学	2	6・70	60・木曜 1・火曜 70・木曜 2・火曜	2	建築基準法、労働基準法や労働安全衛生法などの法律や各種の規準、契約など社会規範や、建築生産における建築技術者の資格や責務など、現場における安全衛生を含め、近年の労働安全衛生の潮流について学ぶ。	
	19	関連法規	2	6・70	60・木曜 3・火曜 70・木曜 1・火曜	2	建築基準法を中心に建物を建てる上で関係する法律や手続について学ぶ。 (1)建築基準法 (2)建築士法 (3)その他の関連法規	
専門実技	20	建築CAD I	1	10	金曜 1・2限	2	建物の内部や外部を2次元CADを利用し表現する方法について、実習を通して学ぶ。 (1)CADの概要 (2)基本操作 (3)2次元CADによる建築製図	
	21	建築CAD II	1	20	月曜 3・4限	2	建物の平面や立面の詳細図を、2次元CADを利用し表現する方法について、実習を通して学ぶ。 (1)2次元CADの応用操作 (2)詳細図作成演習	
	22	建築施工実習	1	1・20	10・月曜 3・火曜 20・火曜 3・火曜	4	鉄筋コンクリート造などの基本的な施工技術を実習を通して学ぶ。 (1)型枠工事 (2)鉄筋工事 (3)コンクリート工事	
	23	木造建築施工実習 I	1	3・40	水曜 1・2限 金曜 3・4限	6	木造住宅などを建てるために使用するノコやカンナなどの使用法を、継手・仕口の加工実習を通して学ぶ。 (1)安全作業法 (2)道具の手入れと使用法 (3)継手・仕口の加工	
	24	木造建築施工実習 II	1	40	火曜 3・4限 金曜 3・4限	2	木造住宅などを建てるために使用する工具の使用法や、簡単な小屋の製作実習を通して、木造建物を建てるための基本的な施工技術について学ぶ。 (1)安全作業法 (2)道具の手入れと使用法 (3)継手・仕口の加工 (4)建方作業	木造建築施工実習 I の受講を推奨
	25	建築測量実習	2	70	月曜 1・2限	2	小規模な建物を建てるための敷地測量の基礎的な知識の習得と測量機械の操作法について学ぶ。さらに、建設現場での工事のための測量、路線の高低差、規模の大きい敷地の面積の求め方など、実習を通して、基本的な測量技術を学ぶ。 (1)角測量 (2)距離測量 (3)平板測量 (4)水準測量 (5)トランバース測量	
施工管理工 エンジニア コース	26	施工管理技術 I	2	50	水曜 1・2限	2	建築全般の基礎知識や施工管理・計画及び関連する法規について、演習を通して学ぶ。 (1)建築学 (2)計画・管理 (3)関連法規	4月より5限目(16:20~17:00) 毎日1級建築施工管理技士補対策を行う。
	27	施工管理技術 II	2	60	水曜 1・2限	2	建築における各種工事についての基礎知識について、演習を通して学ぶ。 (1)軸体工事 (2)仕上工事	8月より5限目(16:20~17:00) 毎日2級建築施工管理技士補対策を行う。
	28	施工図作成演習	2	60	金曜 1・2限	2	鉄筋コンクリート建築物の軸体図作成、総合仮設計画図、仮設足場計画図等をJWW-CADを用いて作図する。	

開講日は、月曜日から金曜日までの週5日制とします。

授業は、90分を1限とし、1単位で9回実施いたします。

授業時間は、次のとおりです。

第1限 8時50分から10時20分まで

第2限 10時30分から12時00分まで

昼休み 12時00分から13時00分まで

第3限 13時00分から14時30分まで

第4限 14時40分から16時10分まで

○本校の授業はクオーター制(1年間を4分割)を採用し、各期間は次のとおりです。			
[令和8年度]			
学期	1年次	2年次	期間
前期	第1クオーター(1Q)	第5クオーター(5Q)	4月13日から6月22日まで
	第2クオーター(2Q)	第6クオーター(6Q)	6月23日から9月15日まで
後期	第3クオーター(3Q)	第7クオーター(7Q)	9月16日から12月10日まで
	第4クオーター(4Q)	第8クオーター(8Q)	12月11日から2月26日まで